

福島原発事故、避難した人々が国の責任を求めた裁判、最高裁は国に賠償責任がないと判決。長期間に渡って故郷を離れている人々への思いを砕いて・・

6月8日のゼミは、芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅱ部1章を松村さんの報告で行いました。なお、予定の2章は時間がなく、次回の7月13日ゼミで、2・3章を同じ報告者で行います。最初に20世紀の認識として、「国家—巨大経営」の枠組みでケインズ主義と冷戦体制でのコーポラティズム、その枠組みの破綻、これに抗して「人間らしい生活と労働」の回復が焦点となる。市民社会論ではハーバースの二元論を元に市場経済の関りが問題となる。それに対してコミュニタリアニズム(共同体主義)が志向される。「政治社会」や「経済社会」が「市民社会」に深く根ざし必要不可欠である。そこで「市場」と「市民社会」を重ね合わす論者も出てくる。国家は市民社会の枠組みをつくとともに、共同社会生活の限界条件や基本的規則を定める。「市民社会」概念は「階級社会史観」「市民社会史観」を両立させ、市場の止揚・社会主義へと繋がっていく。さらに、資本主義と市民社会の関係は多義的である。市場・労働と資本・経済が社会・文化・国家の間で歴史的な変化の関係こそ、市民社会概念での本質的な意味がある。

討論では、欧州では小僧・使用人は市民ではない。市民社会概念はアリストテレスなどギリシアからヘーゲルの概念まで多様にある、政治における市民間平等。芦田氏の市民社会概念は錯綜し整理していない。市民社会を望ましいと思うのか、共産主義社会でも市民社会はあるのか。市民社会は概念なのか、それとも現実の実体なのか。ヘーゲル・マルクス・吉田傑俊など。ニューディールを民主主義の解体とみるが、むしろ民主的なものだ。労働・資本・経済と社会・文化・国家の対比、まさに土台と上部構造だ。

出席は、小野さん、高島さん、川口さん、松村さん、斎藤さん(Zoom)、竹内さん(Zoom)、山口さんと高田の8名でした。

* 6月22日(第4週)ゼミも、午後5時半から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 880 0613 8930 パスコード: 350200

* 6月22日ゼミは、40章から43章までの差額地代論をまとめて行います。報告は興味また問題ある論点等を中心に行います。

* 6月8日ゼミは芦田本Ⅱ部1章のみで2・3章は次回(7/13)に行います

***** ゼミ日程 *****

6月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻40～43章 差額地代論 報告・竹内さん

7月13日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅱ部2章20世紀・報告・松村さん

7月27日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻44章 最劣等地・差額地代 報告者未定

その後 9/12, 9/29, 10/12, 10/26, 11/9, 11/23, 12/14, 12/28 : アイクルの部屋

◇第三学科事務局/高田好章 : ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso